

新年あけましておめでとうございませす

昨年はコロナの蔓延に隣国での戦争勃発、インフレによる物価高と本当に先行き不透明で多くの不安に悩まされる一年でした。今年は何としても誰もが未来に向けて明るい希望を持てる年になってもらいたいと思いません。とはいえ、世界平和のため私にできることと言えば祈ることぐらいしかありません。これと違って特定の宗教に信心を持っていない私ですが、初日の出のご来光に差別や分断、奪い合いの無い成熟した世界になるようにと祈ろうと思っております。以下にはお正月にちなんでこれまで私が感じてきた宗教観と今年、もしくはこれからの世の中で大事にすべきだと思う事について述べさせていただきます。

宗教について

宗教を辞書で引くと定義は以下のように書かれています。
世界には日常の経験によつては証明不可能な秩序が存在し、人間は神あるいは法則という象徴を媒介としてこれを理解し、その秩序を根拠として人間の生活の目標とそれを取り巻く状況の意味と価値が普遍的・永続的に説明できるという信念の体系をいう。この信念は、生き生きとした実在感をもつて体験として受け取られ、合理的には解決できない問題から生じる知的、情的緊張を解消し、人間に生きがい、幸福

令和五年新年に寄せて



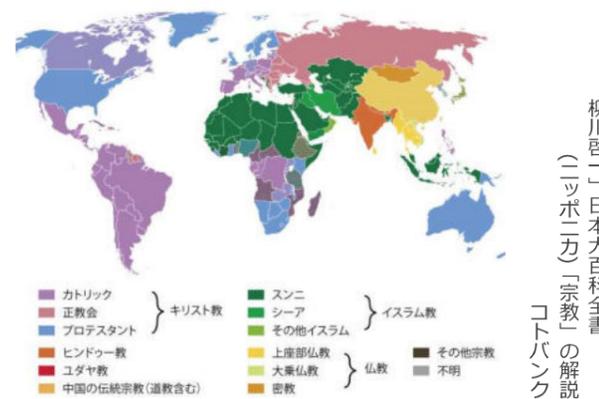
世界で最もお詣りに行く民族

世界中で日本ほど、宗教に無関心な国民はいないと言われます。しかし、新年を迎えた際に宗教施設に足を運ぶ人の数は日本人が圧倒的に多いのも事実です。多くの人が新年に初詣やお寺へのお参りをするのは（意識されていなくても）まさしく宗教観の表れだと思えます。誰もがつい神社に行きたくなく、初日の出に拝みたくなるのは不思議です。それは特定の神様やご本尊に対して信仰心を持つと言ふことではなく、神話の時代のその前から全てのものに神が宿っており、それらを崇め共に生きる「八万の神」の概念が今も日本人に根付いているからだと思うのです。あまり意識していない人はいないかもしれませんが、日本人は他の国とは少し違う形の宗教観を持っているのではないかと思っております。

宗教大国日本

また、初詣は基本的に日本古来の神道の行事ではあります。が、日本人はお葬式は大陸から渡ってきた仏教で行い、

を与える役割を果たすものとして期待されている。また、信念を同じくする人々が、教会、教団とよばれる共同体を形成する。この定義を見ればわかるように、宗教を持つている、信心していると言ふのは仏門に帰依したり、神父に洗礼を受けたり、教団に所属して足しげく集会に参加したり、神棚を祀っていたりすることではなく、論理的・科学的に説明や理解されない様々な出来事や自然の摂理といった原理原則に対して畏れを持ちたり、崇めたり、もしくは受け入れることさえも宗教の範疇に入ると書かれています。それらは太古の昔から人の心の拠り所や支えになつてきたのは紛れもない事実であり、その意味では（私のように）無宗教と自称される人も本人が意識していないだけで何らかの宗教感を持っていると言つても過言ではないと思つています。



柳川啓二「日本大百科全書」コトバンク

信仰と四方良し

西洋式のクリスマスやハロウィンで盛り上がるようになった多様性を受け入れて様々な宗教行事を生活習慣の中に取り入れてきました。このように考えれば、実は日本は宗教大国だと言っても過言ではありません。何も、無宗教だとか、信仰心が無いとかで外国の人たちに引け目を感じることも気後れする必要もないと思つています。

全国には8万4千社を超える神社と7万7千を超える寺院、合計すると16万にも上る圧倒的な数の宗教施設が存在しており地域の暮らしに溶け込んでいます。日本人は生活習慣の中に宗教がなじみずぎていて逆に気づかなくなつて、私には信心していません。しかし、「私には信心している宗教派や教義がある」と言われる人はごく少数で、マイノリティといつても過言ではありませぬ。世界に類を見ない程多くの宗教施設があるにもかかわらずおかしな事だと思つてしまひます。

日本宗教を持つべき時代

日本人の宗教観が強いことの表れとして、世界的に稀な程の倫理観の強さ、生真面目さ、民度の高さが上げられます。明治維新以降、欧米列強に飲み込まれないようにと内憂外患の中、誠実で真摯な姿勢を以つてことあたりに、日本は独立国家としての國體（こくたい）を保つてきました。結局、戦争に敗れ植民地になつてしまひましたが、戦前、戦後を通じて日本が経済的な発展を遂

信仰を持つている人は格好いい？格好悪い？

私がまだ若かりし頃、海外の友人や知人ができて仲良くなる度にその人たちが確固たる宗教観を持っており、善悪の判断をその教義に照らして考えられるのを見て、無宗教である自分のことをすごく恥ずかしく思うことがよくありました。無宗教は生きる上での軸を持っていないようでも格好悪いと感じていたのです。しかし、それは逆に特定の新興宗教法人の活動に熱心に参加して、必死に組織拡大をしている人たちに対しては、かっつこ良いと思う事はなく、逆に無理矢理入信しろと迫られる場面に呼ばれた時は随分と違和感がありました。もっと幼い頃は、近所の公園にキリスト教の神父さんがやってきてお菓子を配つてくれる日曜学校なる集まりに行くのは大好きでしたが、キリスト教は自分たちには関係ないと思ひながら、厚かましくお菓子だけをもらつていた記憶があります。



昭和後期から平成にかけて、世界有数の経済大国にまで復活を遂げ、その後失われた30年と呼ばれる経済成長が止まったままの日本では、先行きに対する閉塞感と相俟つて、今だけ、金だけ、自分だけ良ければ良いのだとの思考が世間一般に蔓延してしまひました。先人から引き継いだ善き意図を持ち、自らの倫理観に沿った良き行動を行えばお天道様やご先祖様が見えてくれて必ず報われると、神道と仏教と儒学が融合した日本らしい基本的な価値観が失われつつあるのではないかと危惧が拭えませぬ。

欧米式の金融経済、強欲資本主義の奪い合いで格差が広がり戦争が起り世界が行き詰まる今こそ、日本を発展と成長に導いた日本の宗教観や倫理観、そして三方良しに代表される商売観を見直し、再認識すべき時期ではないかと思つています。初詣では世界の平和と日本が閉塞感から解放されること、私たちが理念に掲げる四方良しの世界の実現を祈りたいと思ひます。皆様も健やかな新年をお過ごしください。本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

高橋剛志拝

2024年 巡回予定表 (一般1時間大工工賃のみ無料でメンテナンス)

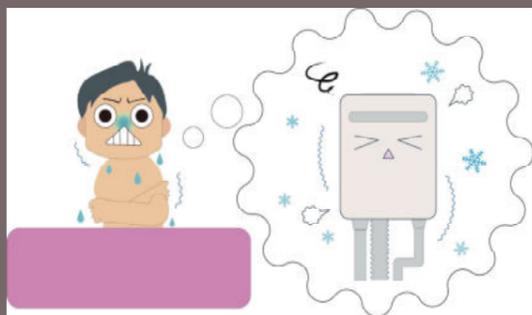
下記予定となっておりますが、都合により前後する場合がございますのでご了承下さい【つなぎ有料会員の方は、お好きなタイミングで3時間大工工賃のみ無料でメンテナンス】

1月	西区	学園東町、学園西町、池上、大津和
2月	西区	有瀬、長坂、前開、今寺、別府
3月	西区	玉津、押部谷、月が丘、秋葉台
4月	西区	桜ヶ丘、井吹台、狩場台、櫛谷町
5月	西区	糺台、竹の台、榎野台、春日台、美賀多台、他
6月		長田区、兵庫区、灘区、東灘区全域
7月	垂水区	小束山、学が丘、多聞台、舞多聞台、向陽、高丸、千代が丘、清水が丘、星が丘、五色山、海岸通、星稜台、霞ヶ丘
8月	垂水区	神陵台、西脇、南多聞台、神和台、名谷町、つつじが丘、桃山台
9月	垂水区 須磨区	垂水南部 前池町、神撫町、大手町、明神町、須磨東部、千守町、高倉町、潮見台町、高倉台、白川台、若草町、緑ヶ丘他
10月	須磨区	妙法寺、道正台、清水台、横尾、多井畑、竜が台、友が丘、菅の台、落合、神の谷
11月		中央区全域、北区南部、中部
12月		北区北部、三田市、阪神間、三木市、西脇市、加東市全域
2024/1		明石市、播州全域

費用

地域サポートサービス 「tunagi~つなぎ」

がリニューアルします！2023年より、積立てられる金額を一口1,100円とし、口数をお選びいただけるようになりました。予想以上にリノベーション費用がかかって色んな事を諦めたりしないために、今のうちから積立てておきませんか？その他お得なサービスもついてくるので、詳細な内容やお申込みは右のQRコードからご覧ください。絶対お得ですよ！！



つむぎぐらし ランチ付き 薬膳セミナー

ランチしながら学べる 難しくない薬膳の基礎

12月7日(水) 11:00~14:00
場所 つない堂3階 TUGI スタジオ
主催 株式会社四方纏 つない堂

12月7日に「つむぎぐらしvol.37ランチ付き薬膳セミナー」が開催されました！初回なので、森先生による基本の講義と、つむぎママが作った薬膳ランチを皆さんに頂いてもらいました。薬膳とは、食事を薬食同源としてとらえられてきた中国伝統医学理論に基づく健康維持や病気の予防・回復などに役立つ美味しい食事です。自分の体と向き合って診断して、必要な食べ物を選ぶことが大切なんだそうです。今回は冬なので「体を温める」でしたが、次回は夏に「体を冷ます」を行いますのでお楽しみに！

